

宗像市こども計画

シート④＜結婚・子育ての希望の形成支援と子育てに伴う喜びを実感できる環境づくり＞

	施策カテゴリー	事業名	所管課	事業概要	該当計画				指標名	令和１１年度 目標値	令和７年度			令和８年度			令和７年度実施計画	令和７年度実施状況	令和８年度実施計画
					子ども・子育て	次世代育成	子どもの基本条例	子どもの未来応援			目標値または活動指標	実績値	評価（A～E）	目標値または活動指標	実績値	評価（A～E）			
1	こどもの自立と生活の安定支援	定住化推進事業	経営企画課	子育て環境や教育環境、自然環境、安全安心な生活環境等、宗像市の居住環境の良さを広くPRし、若年・生産年齢人口の増加を図る。市内の中古住宅の購入者等に補助金を交付し、子育て世帯の生活の安定支援を行う。	●	●		●	住宅購入・移住支援補助金の申請件数	60件	60件	63件	A	60件			各種補助金のチラシ等を活用しながら、お試し居住体験プログラムなどと併せて定期的に周知を行う。	市民課でのチラシ配布や移住フェアへの出展等により、補助金や移住支援の周知を実施。	各種補助金や移住支援の定期的な周知を行い、補助金の利用促進を行う。
2		奨学金返還支援	経営企画課	大学卒業後、市内に住み就職する人に奨学金返還に係る費用を補助し、生活の安定支援を行う。	●	●	●	●	奨学金返還支援制度の申請件数	60件	30件	56件	A	60件			対象者の方に向けての周知だけでなく、親世代に向けても広報紙やSNSで定期的に周知を行う。	市SNSや広報紙による定期的な周知を実施。	対象者の方に向けての周知だけでなく、親世代に向けても広報紙やSNSで定期的に周知を行う。
3		就労支援	経営企画課	就労に関するお悩みの相談窓口を設置し、高校・大学卒業後、就職に悩む人から高齢者まで幅広く就労支援を行う。	●	●	●	●	就労支援ワンストップ窓口を利用し就労した方の人数	380人	120人	344人	A	380人			就職に関するセミナーを年に2回開催し、新規登録者を獲得しつつ継続的な支援を行い、就職決定者数を増やす。	ふるさとハローワークと連携し情報共有を行いながら、年2回のセミナー開催や継続的な支援を実施。	年2回のセミナー開催や合同就職説明会への参加により、新規登録を促進することで、ふるさとハローワークと連携しながら、継続的な支援を行い、就職決定者数を増やす。
4	出会い、結婚、子育ての希望の応援推進	シティプロモーション事業	秘書政策課	様々な媒体を活用して広く市をPRしたり、市のプロモーションにつながる事業を実施したりすることで、市のイメージや認知度、好感度の向上につなげる。都市ブランドサイトや子育て・教育サイトを活用するなど、市内外の子育て世代へのプロモーションや情報提供を強化する。			●		子育て世代向けインスタ「むむハグ」フォロワー数	24,000人	15,000人	18,000人	A	22,000人			子育てでインスタグラム「むむハグ」やママババレポーターのHP取材記事、むなな魅力発信アンバサダーなど多様な市民が主体となり、子育て世代をターゲットとしてイベントや観光、食などの情報発信を強化する。	市内イベント情報やおすすすめスポットの紹介を軸に運用し、地域の魅力を視覚的に伝えることで着実にフォロワー数を伸ばすことができた。特に、親子で楽しめる場所を紹介する投稿はユーザーの関心が高く、保存数やシェア数の増加に寄与した。	令和8年度より、ママババレポーターの増員を行う。増員したレポートの多様な視点と経験を最大限に活用して、より具体的で役立つ情報を発信する。また、昨年度の傾向から子育て世代の皆様が特に関心を寄せるテーマや、共感を得やすいコンテンツの形式を特定し、それに沿った投稿を計画的に行う。
5		男女共同参画推進事業	男女共同参画推進課	男性も女性もいきいきと働くことができ、家族との充実した時間や地域活動への参加の時間が持てるなど健康で豊かな生活が送れるよう、仕事と生活の調和の実現を目指す。固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）から生じるジェンダーギャップの解消を図り、家庭で男女が家事や子育てをともに担うことの大切さを啓発する。	●	●		●	男女共同参画プラン事業達成度B以上の事業	100%	100%	100%	A	100%			ワークライフバランスの大切さについて、男女共同参画推進センターでの講座や市内事業所訪問（26件）を行い、市民や事業所への啓発及び情報提供を行った。家庭で男女が家事や子育てをともに担う意識啓発として、市主催セミナー（夫婦会議の始め方講座1回12組20人参加）や男女共同参画推進センターでの講座を開催するとともに、地域のイベント等での啓発を行った。	ワークライフバランスの大切さについて市民や事業所への啓発や情報提供を行った。家庭で男女が家事や子育てを協力して行うことの大切さについて、講座や啓発を実施する。	
6		男女共同参画推進センター事業	男女共同参画推進課	親子で参加しやすい講座を企画し、夫婦ともに子育てをするきっかけ作りや意識啓発を図る。特に、男性の子育て参画を促し、子育て力向上を支援する。子育てで一旦仕事を中断した女性の再チャレンジを支援するための情報提供や就労支援を目的とした資格取得講座や起業支援講座の充実を図る。	●	●	●	●	講座等参加者数	1,300人	1,200人	1,247人	A	1,300人			講座や街頭啓発等を通じて、夫婦ともに子育てをするきっかけ作りや意識啓発を図る。男性の子育て参画を促し、子育て力向上を支援するための講座を実施する。子育てで一旦仕事を中断した女性の再チャレンジを支援するための情報提供や就労支援を目的とした資格取得講座や起業支援講座の充実を図る。	男性の子育て参画や夫婦での子育てに向けた意識啓発として、男女共同参画推進センターで父子料理教室（2回23組参加）、男性向け料理教室（1回10人参加）を開催した。子育て等で一旦仕事を中断した女性が、自分にあった働き方・生き方について考える機会を提供し、再チャレンジを支援するため、市主催の将来設計セミナー（3講座）、はじめてのAIデザイン体験講座（2講座）男女共同参画推進センター主催の資格取得講座（エクセル、ワード、調剤薬局事務）等を開催した。R6年度に創設した資格取得支援補助金制度の活用促進を行った。	講座や街頭啓発等を通じて、夫婦ともに子育てをするきっかけ作りや意識啓発を図る。男性の子育て参画を促し、子育て力向上を支援するための講座を実施する。子育て等で一旦仕事を中断した女性の再チャレンジを支援するための情報提供や就労支援を目的とした資格取得講座や起業支援講座の充実を図る。
7		出会い・結婚・子育て応援	経営企画課 子ども家庭センター	出会いサポートセンターJUNOALLでの婚活サポートに加え、出会いの場を提供するイベント等を実施し、若者の出会い・婚活を支援する。こどもをもちたいと考える世帯の子育ての希望を応援し、支援する。	●		●		出会いサポートセンター利用者の婚姻件数	2件	2件	7件	A	4件			結婚を希望する独身者をセンターの会員として登録し、個別相談やマッチングシステム導入による出会いに場の提供、引き合わせ、成婚に向けたサポートを実施し、独身者の結婚実現に繋げていく。	毎週日曜日に出会いサポートセンターを開設し、成婚に向けたサポートを実施した。また2月に婚活パーティーを開催した。センターの周知のため、むなふへの広告掲載を3回実施した。	結婚を希望する独身者をセンターの会員として登録し、個別相談やマッチングシステム導入による出会いの場の提供、引き合わせ、成婚に向けたサポートを実施し、独身者の結婚実現に繋げていく。
8		子ども医療事業	子ども家庭センター	医療費の一部を助成することで、疾病の早期発見と治療を促進し、こどもの健康の向上と福祉の増進、保護者の経済的負担軽減を図る。	●	●	●	●	受給資格者数【活動指標】	—	14,669人	15,333人	A	15,333人			子ども医療の受付・審査・認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行う。	子ども医療の助成対象を中学生までから高校生年代までに拡充した。子ども医療費の受付・審査・認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行った。	子ども医療の受付・審査・認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行う。
9		児童手当給付事業	子ども家庭センター	高校生年代（18歳到達後最初の3月31日）までの児童を養育する者に対し、児童手当を支給し、家庭生活の安定とこどもの健全な育成を支援する。	●	●	●	●	受給資格者数【活動指標】	—	7,744人	7,758人	A	7,758人			児童手当の申請受付、審査及び支払いを行う。	児童手当の申請受付、審査及び支払いを行った。物価高対応子育て応援手当を支給した。	児童手当の申請受付、審査及び支払いを行う。
10		就学援助事業	教育支援室	小学校・中学校・義務教育学校に就学する児童生徒に必要な学用品費・給食費等を、経済的な理由で負担することが困難な保護者に就学費用を援助する。	●	●	●	●	就学援助受給児童生徒数（準要保護）【活動指標】	—	小学生645人 中学生400人	小学生604人 中学生402人	B	小学生604人 中学生402人			経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給する。	経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給を行った。	経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給する。
11		高等学校等奨学金事業	教育支援室	高等学校又は高等専門学校に在学する生徒で、経済的理由により修学困難な生徒の保護者に奨学金を支給する。	●	●	●	●	奨学金受給生徒数【活動指標】	—	282人	289人	B	289人			経済的理由で就学が困難な高校生の保護者に対して、奨学金を支給する。	経済的理由で就学が困難な高校生の保護者に対して、奨学金を支給を行った。	経済的理由で就学が困難な高校生の保護者に対して、奨学金を支給する。

	施策カテゴリー	事業名	所管課	事業概要	該当計画				指標名	令和１１年度 目標値	令和７年度			令和８年度			令和７年度実施計画	令和７年度実施状況	令和８年度実施計画
					子ども・子育て	次世代育成	子ども基本条例	子どもの未来応援			目標値または活動指標	実績値	評価 (A～E)	目標値または活動指標	実績値	評価 (A～E)			
12	子育て世帯の経済的負担軽減	重度障害者医療事業	子ども家庭センター	医療費の一部を助成することにより、重度の障がいがある人の福祉の増進を図る。	●	●	●	●	受給資格者数【活動指標】	—	1,784人	1,783人	A	1,783人			重度障害者医療の受付、審査、認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行う。	重度障害者医療の受付、審査、認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行った。	重度障害者医療の受付、審査、認定を行い、医療証の交付、医療費の助成を行う。
13		特別児童扶養手当事業	子ども家庭センター	障がい児の福祉の増進を図るため特別児童扶養手当の申請受付、同手当を支給する県への進達事務を行う。	●	●	●	●	受給資格者数【活動指標】	—	420人	441人	A	441人			特別児童扶養手当の申請受付及び県への進達事務を行う。	特別児童扶養手当の申請受付及び県への進達事務を行った。	特別児童扶養手当の申請受付及び県への進達事務を行う。
14		障害児福祉手当給付等	福祉政策課	日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳未満の在宅の重度障がい児に障害児福祉手当を支給する。20歳未満の重度障がい児に重度障害者年金を支給する。心身障害者扶養共済制度の加入者で、掛金の納付が困難な人に対して掛金を助成する。	●	●	●	●	①障害児福祉手当給付人数 ②重度障害者年金給付人数 ③心身障害者扶養共済掛金助成人数【活動指標】	—	①105人 ②117人 ③3人	①132人 ②122人 ③3人	B	①118人 ②109人 ③3人			障害児福祉手当・重度障害者年金の制度周知を図り、受付、審査、認定を適正に行う。心身障害者扶養共済制度の加入者で掛金の納付が困難な人に対して掛金を助成する。	日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳未満の重度の障害者からの障害児福祉手当・重度障害者年金の申請に対し、適正に受付、審査、認定を行い支給した。心身障害者扶養共済制度の加入者で掛金の納付が困難な人に対して、助成終了者と新規対象者の確認を行い、掛金を助成した。	障害児福祉手当・重度障害者年金の制度周知を図り、受付、審査、認定を適正に行い、支給を行う。心身障害者扶養共済制度の加入者で掛金の納付が困難な人に対して掛金を助成する。
15		渡船通学定期券購入費補助	教育支援室	地島又は大島に居住している中学生・高校生・大学生の保護者に対し、渡船を利用して通学する際の通学定期券購入費用を補助する。	●	●	●	●	補助金申請者数【活動指標】	—	11人	11人	B	7人			地島及び大島渡船を利用して通学する中学・高校・大学生の保護者に対して、経済的負担を軽減するために、渡船定期券購入費の補助を行う。	地島及び大島渡船を利用して通学する中学・高校・大学生の保護者に対して、経済的負担を軽減するために、渡船定期券購入費の補助を行った。	地島及び大島渡船を利用して通学する中学・高校・大学生の保護者に対して、経済的負担を軽減するために、渡船定期券購入費の補助を行う。
16	次世代の親の育成	「中学校家庭科」GT派遣事業	子ども家庭センター	中学校家庭科の「家族・家庭と地域」の学習の際に、助産師や保健師等をゲストティーチャーとして派遣することで、子育てについて学ぶ機会を提供する。	●	●	●	●	派遣中学校数	年6校	年3校	3校	B	3校			中学校の授業に助産師等が出向き、妊婦体験やプレコンセプションケアや子育てについて学ぶ機会を提供する。	中学校の授業に助産師等が出向き、妊婦体験や子育てについて学ぶ機会を提供した。	中学校の授業に助産師等が出向き、妊婦体験やプレコンセプションケアや子育てについて学ぶ機会を提供する。
17		乳幼児ふれあい体験	子ども育成課	地域の子育て支援団体等と連携して乳幼児と小中学生がふれあい、家庭や周りの人々の子育てへの思いにふれ、自分の成長を振り返る場を提供する。	●	●	●	●	将来の夢、目標を持っている中学生の割合	75%	70%	71%	A	70%			子育てサロン等を市内の中学校で開催する。生徒が乳幼児とふれあう機会を設けることで、子育てに夢を持つこどもの育成を図る。	年に４回実施し、１９７名の中学生が参加し、乳幼児に実際に触れたり、保護者と話したりする機会を持った。	子育てサロン等を市内の中学校で開催する。生徒が乳幼児とふれあう機会を設ける。